



介護保険料の還付手続きを装う ニセ電話詐欺が発生

市職員を名乗り、介護保険料の還付金の案内をおこない、金融機関情報の聞き取りや、ATM の操作を誘導するニセ電話詐欺が、宗像で発生しています。

報道関係各位におかれましては、周知にご協力をお願い致します。

■事態の概要

(1)概要

- ・7月中旬から、約3万人を対象に市から納入通知書（介護保険料決定通知書）の書類を発送。
- ・介護保険課の市職員を名乗り、介護保険料の還付金の案内をおこない、ATM 操作を誘導するニセ電話の問い合わせがあり、事案が発覚しました。

(2)相談があった件数

8月：3件、9月：2件(9月26日時点)、計5件

(3)相談内容

- ・介護保険課の所属を名乗った職員から「介護保険料に還付金が生じている。メインバンクはどこを使っているか」と聞かれ、ATM で還付のための操作が必要と言われた。電話で還付金の案内をすることはあるのか。
- ・介護保険課の所属を名乗った職員から「介護保険料に還付金が生じている。メインバンクはどこを使っているか」と聞かれ、ATM での還付のための操作が必要と言われた後、銀行を名乗ったコールセンターより電話があった。銀行が還付の手続きを直接行っているのか。
- ・介護保険課の所属を名乗った職員から「介護保険料に還付金が生じていて2月頃に案内を送付したが書類に返送がなかった。金融機関を早急に回答してほしい」と言われ不信に思い、介護保険課に電話した。
- ・介護保険課の所属を名乗った職員から「介護保険料に還付金が生じていて還付の期日が迫っている。ATM へ行き早急に回答してほしい」と言われ不信に思い電話した。

※ニセ電話は介護保険課の職員や金融機関職員を名乗って話をする事で相手へ安心感を与える、非常に悪質なものです。

(4)被害について

現在までに、ATM を操作し、入金をおこなった事例の連絡は受けておりません。

(5)今回の特徴

例年70歳代以上の人に電話がかかる事案は確認できているが、今回は60歳代の人を中心に電話がかかっている。

■市の対応

- ・相談があった対象者に対して、市職員が事案のような電話をすることは絶対に無い旨を伝え、対象者に消費生活センターへの情報提供を依頼。
- ・市公式ホームページ、市公式 LINE、Facebook、X で注意喚起を実施。
- ・宗像警察署、市消費生活センターに事案発生情報を共有。

【問い合わせ先】

宗像市介護保険課 担当：堀、中野 TEL:0940-36-4877